



最近、南海トラフ巨大地震の被害想定や津波の予想規模の見直しについて、連日のように報道されています。ますますもって日頃の備えは欠かせません。障害のある人の防災対策について、お役立ち情報をご紹介します。

★ 地域防災拠点に ありそうでないもの・・・！？ (シリーズ3)

保土ヶ谷区には26ヶ所の地域防災拠点があり、それぞれの備蓄庫には「救助用品」「救護用品」「生活用品」「食料・水」など38種類の防災関連グッズを置いています。ところが…

救護用品は…

毛布	240枚
グランドシート	10枚
保温用シート	50枚

救護用品はこれだけです。横浜市では、各防災拠点ごとに240枚の毛布を置くことになっています。しかし、備蓄庫に空きスペースがない場合は「方面別備蓄庫」に保管するとのことで、実際には20枚しかない拠点もあるのです。

防災拠点に行けば何とかかなと思わず、『自助』を大切に！

画期的な取り組み!!

冷蔵庫に保管

救命情報カプセルを全戸配布

当防災部会(地域連携分科会)では、去る8/20に、保土ヶ谷区の中央東部地区社協の近藤忠行会長をお呼びし、中央東部地区内の自治会加入者を対象に配布している「救命情報カプセル」の取り組みについてお話を伺った。

災害時にも比較的に原型を留めやすい冷蔵庫に保管というアイデアもさることながら、災害対策などとしてすでに他の地域でも行われているような、独居の高齢者や障害者に対象を限定することなく、(自治会加入の)すべての世帯、すべての家族を対象としたということが画期的。

確かに、緊急時は本人に意識が無い、パニックになっている、家族も気が動転しているため、消防署の救急救命士が駆けつけても必要な情報を伝えられないといったことが誰にでも起こりうる。災害時に限らず、誰にとっても安心な、地域発のユニバーサルサービスともいえる。

配布後は情報の更新を呼びかけることも重要とのこと。この取り組みは他の地域でも急速に広がっているようだ。

♪♪♪ 無料配布中 ♪♪♪

★障害福祉の災害マニュアル避難編(本人用、事業所用)あります。お問い合わせは事務局まで。

★防災訓練の企画から実施までを一緒に取り組みませんか。(対象は、障害のある方のご家庭、作業所やグループホームなど)

防災部会(防災訓練分科会)では、今までもいろいろな事業所の訓練を応援しています。

- ・グループホームリリ、らら
- ・withゆう(作業所)
- ・グループホーム光風
- ・グループホーム優風、陽風

☞当協議会のホームページもぜひご覧下さい。
<http://www.e-hodogaya.org/jiritsu/profile.html>

★出前講座の詳細や窓口については裏面をご覧ください。

<発行> 保土ヶ谷区地域自立支援協議会 防災部会

<連絡先> 保土ヶ谷区神戸町140-2 ほどがや地域活動ホームゆめ内
自立支援協議会 事務局 (TEL 045-340-3360)